

目標達成計画

作成日: 2024年 2月 15日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	職員会議やリーダー会議で職員の意見や提案による業務改善等の決定事項が徹底されない。	業務改善が必要として提案、検討された内容を職員全員で周知し実行していくことで働きやすい環境にする。	改善内容や対策を一人ひとりの職員が把握しチェック表の作成や日勤リーダー、ユニットリーダーのチェック体制をシステム化する。定期的に評価する。	6ヶ月
2	24	事前面談や入居前の居宅ケアマネ、ご家族からこれまでの暮らし(生活歴)の情報が不足である	入所後も一人ひとりの生活歴やなじみの暮らし方、生活環境がご本人の希望に応じ継続できるようにケアプランの作成に活かされ、その人が望むその人らしい生活を実現する。	生活歴に関するアセスメント様式の作成。身近な上司のコミュニケーション技術を参考にし情報収集力を身に付ける。	12ヶ月
3	40	食事作りは一方のユニットが中心となり行っているが、他ユニットでも食事の下ごしらえや準備等ができるのではないかな。	食事が楽しみなものになるように一人ひとりの好みや力を生かしながら両ユニットで食事の準備や後片付けを行う。	両ユニットでご利用者と職員が一緒に準備や後片付けをする。	12ヶ月
4	48	集団での行事やレクリエーションは充実して行っているが個人の特性や能力が生かせることや楽しさが持てるようなことを提案したい。	より柔軟の個別ケアの実施 個別レクリエーションの実施	全ての職員がご利用者に関心を持ち、普段のコミュニケーションのなかで本人の興味や意向(やりたい事、やってみたい事、食べたいもの、食べてみたいもの、行きたいところ、行ってみたいところ等)を把握する。実際にできるかどうかは提案し、本人や家族、職員間で検討していく。	12ヶ月
5	49	コロナ禍で外出の機会が少なくなり戸外に出かけられる支援ができなかった。	普段は行けないような場所でもご利用者の希望を把握して、ご家族の協力を得ながら出かけられるように支援する。	出掛けたい場所ややりたいことを職員が積極的にご利用者にお聞きすることから始める。行事・レク委員会が中心となり計画を立て実現に繋げる。	12ヶ月